

H O YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

2012. 4 179号



アプサラスによるオペレッタの様子(得度のシーン)

三月二十六日、メリケパークオリエンタルホテルを会場に「兵庫教区寺族婦人会の結成三十周年を記念して開かれた本大会は、テーマを「現生正定聚々慈光(み

ひかり)につつまれて」とし、第三連区からの来賓、教区内三十九組からの参加者をはじめとして、計二百八十九名の参加の中、盛大に開催された。会は、松本晴美氏(寺副委員長)の司会のもと、献灯・献華・献供

務所長挨拶、杉本照美氏(寺副委員長)挨拶、豊原大成師(米賓代表)の祝辞にて開会。記念講演には、深川宣暢師(本願寺派司教・龍谷大学文学部教授)より、講題を「如来さまを伝えること」と題してお話を頂戴した。

記念講演に続いてのアトラクションには、教区寺族婦人会によるオペレッタ「親鸞聖人と恵信尼さま」(作・演出/釋氏清子師 監修/豊原大成師)が上演された。

大会後の記念パーティーは、後藤佳代子氏(寺婦運営委員)進行のもと、土橋ひろみ氏(京都教区寺婦委員長)の祝辞の後、多田満之師(教区会議長の乾杯の発声で開会。途中には、アプサラスのコーラス、千扇師・寺族婦人会の歌・踊りもあり、賑やかに進行。教区寺族三十一年の歩みを振り返り、次への一步を踏み出す、意義ある大会となった。

教区寺婦が三十周年 寺族婦人二九〇名が神戸のホテルに

務所長挨拶、杉本照美氏(寺副委員長)挨拶、豊原大成師(米賓代表)の祝辞にて開会。記念講演には、深川宣暢師(本願寺派司教・龍谷大学文学部教授)より、講題を「如来さまを伝えること」と題してお話を頂戴した。

積もると、生活に多くの支障をきたすだけでなく、除雪作業での事故も多発します。そんな中で都会の大学生や、地元の高校生たちが雪あけのボランティアとして大活躍してくれました。自然の厳しさはその土地に住む者にとつての生活を妨げ、決してほしくないものではなく、捨て去りたい気持ちにさせます。しかし、そこで育つ子供たちには粘り強さや我慢強さを育て、晴れた朝日の美しさや、春の地熱の暖かさに命の感動をもつてうれしく感じる心を育てます。◆「罪障功徳の体」となる「こほりとみつのごとくにて」こほりおほきにみつおほし／さはりおほきに徳おほし「親鸞聖人も雪深い流罪の地で自然と格闘しながら、雪解けの春の恵みは私たちに時として多くの悲しみと苦痛と嘆きを与えます。それでもふるさとと海も山も空も憎むことなく、時には新しい時代のボランティアの力に助けられながら、いつまでもこの土地と一緒に暮らしていきたいと思うのです。

出石組勝林寺 西池匡紹

4月		5月	
15(日) 常例法座 " (16日まで 福田高明師 綱干組)	13:30	1(火) 寺婦運営委員会	13:30
17(火) 総代会常任委員会	10:30	5(土) 第一土曜仏教講座 (牧野桂一氏 筑紫女学院大学)	13:30
18(水) 第152回臨時教区会 " 企画常任委員会	10:30 14:30	7(月) 別院仏婦定例法座 (上谷了昭師 神戸中組)	13:30
20(金) 青僧会役員会	15:00		
23(月) ビハラー総会・公開講座	13:30		
25(水) 布教団役員会 " 同宗連役員会及び第31回総会 湊川神社	13:30 11:00		
26(木) 仏婦コース練習会 " 組長会	13:30 13:30		
28(土) 仏青平成24年度総会 懇親会	13:30		
29(日) 仏社理事會總會			
8(火) 特法協 総会・研修会	14:00		
9(水) 仏婦新旧委員總會・幹部一泊研修会 (10日まで)	終日		
11(金) 神戸真宗連盟	12:00		
" アプサラス練習	13:30		
15(火) 常例法座 (16日まで 別所法宣師 神戸湊組)	13:30		
" 少年連盟平成24年度総会	16:00		
17(木) 寺婦新旧委員總會	10:30		
18(金) 神戸真宗連盟	12:00		
" アプサラス練習	13:30		
" 門推新旧幹事會	10:30		
23(水) 総代会評議員總會	10:30		
24(木) 少年連盟役員會 " 仏婦コース練習會 " 青僧會總會	13:30 13:30 15:00		
27(日) 神戸別院降誕會 (足利孝之師 阪神東組)	13:00		
" 仏社報告總會(高砂)			
28(月) 兵庫聖典研修會	10:00		

兵庫教区スカウトクラブでは、各寺院にて本願寺派仏教の取得に向けた研修会を行っている。指導者への支援として、「スカウト聖典」及び「スカウトハンドブック」を無料で交付しています。

ご希望の方は、申請用紙を送付致しますので、教務所までご連絡ください。TEL:〇七八(三四)五九九九

スカウトクラブのお知らせ



スカウト聖典・ハンドブック

ステッカー募金報告

ステッカーの販売金額 万円【救援物資】(二枚五百円)が全額東日本大震災の被災地支援募金に使われる。「ステッカー募金」(主催/神戸東組)に次の通りご協力を頂きましたので、ご報告いたします。

【募金総額】百九十二万二千七百七十三円【寄付先】東北レインボーハウス・センター建設基金/五十万円◆東日本大震災みやぎ子ども育英募金/五十万円◆東日本大震災ふくしまこども寄附金/五十

万円の被災物資(野菜、水、お米、子ども達にお菓子(宮城県、福島県)の避難所、仮設住宅)七万七千七百六十七円◆石油ストーブ、電気カーペット(宮城県の仮設住宅へ)二十万六千六百六十五円※残り金十四万四千八百四十一円は、今後の支援活動に繰り越してさせていただきます。

ステッカーの販売は教



被災地支援のステッカー

務所でも行ってまいります。引き続きのご支援をよろしくお願い致します。

【問合せ先】神戸東組組長事務所/TEL:〇七八(四三二)一四〇七

第六期(平成二十四・二十五年度) 勸学寮真宗兵庫会場受講者募集

第六期(平成二十四・二十五年度) 勸学寮真宗兵庫会場受講者募集

講座開講にあたり、神戸別院が会場に選定されましたのでご案内致します。※他、二会場(東京・鹿児島)については勸学寮までお問合せください

【開講期間】平成二十四年六月〜平成二十六年三月

月【兵庫会場講師】安心論題「徳永一道勸学」三經七祖教義「満井秀城司教」仏教概論「宇野恵教司教」【講義時間】各科目二十四時間(二講義三時間/全八回)【応募資格】本願寺派教師(未教師僧侶も聴講可。但し、学階得業予試・本試免除対象とはならない)【募集人員】四十名程【応募手続】勸学寮に所定の願書(受講・聴講願、履歴書)を提出

ください(郵送可、FAX不可)※願書は申し込みにより勸学寮から送付【応募締切】平成二十四年五月十一日※締め切り後審査を行い、五月下旬までに本人宛に通知【受講料】六万円(未教師僧侶は五万円)【申込・問合せ先】浄土真宗本願寺派宗務所内勸学寮千六〇〇・八五〇(東京都下京区堀川通花屋町下ルTEL:〇七五(三七)五一八一

左記の方がご逝去されましたので謹んで敬弔の意を表します

是川千世子(掛龍東組専光寺前坊守) 平成二十四年三月一日八十四歳

津川多治枝(城崎組明元寺前坊守) 平成二十四年三月十日九十八歳

依藤義人(新宮組浄福寺住職) 平成二十四年三月十六日九十七歳【敬称略】

三月二十六日現在

敬弔

新職員紹介



かめやひろのり 亀山宏法氏 やすまけい や 安間慶哉氏

四月一日付で安間氏(山口教区阿武組専正寺)が書記・承仕として、亀山氏(安芸教区豊田東組順覚寺)が臨時勤務員として入所致しました。

深川宣暢師の講演より 〜寺婦二十周年記念大会〜

寺族婦人という連盟の意義ですね。講題に書かれました。結局結論から申しあげれば、お互いが助け合って、「必ず救う」というこの如来さまを、お届けすることです。

共によるこび、お伝えすることです。「必ず救う如来さまが、貴方と一緒に」という所をお伝えすること、それが結論だと思います。共に、如来さまを抱えて、如来さまを戴いて、そして、やっていくわけです。

「必ず救う如来さまが、貴方と一緒に」という所をお伝えすること、それが結論だと思います。共に、如来さまを抱えて、如来さまを戴いて、そして、やっていくわけです。

本当はひとり

本当を言えば我々「ひとり」ですよ。誰も自分の人生代わってくれませぬから。でも、本当はひとりなんだけれども、ひとりだからこそ助けあっていこうではありませんか。

連盟の意義

ただけれども、そのところに、貴方はひとりではないよ、貴方はひとりではありませんよ、如来さまが一緒ですよ。ということがあって、我々はそのことが戴ける。

貴方の所にも、如来さまはおいでとるか、貴方の所にもおいでとるか、良かったね。

これが、連盟という形でね、お仲間が増えていくことの、大きな大きな意義の一つでしょうね。ひとりだけでやっていくのではありません。我々は無人島にひとり住んでいるのではありませんね。

私たちは助けあっていくことができる。その能力も持っている訳ですから、ひとりが本当なんだけれども、そのひとりが、貴方もひとり、向こうにもひとり、如来さまを戴いておいでになれる。と



優しい口調で語られた(深川師)

いとところから帰ってくる。暗い夜、雨が降ってきた。恐ろしいなあ、怖いなあ、と思いつつ、その中を運転して帰ってきた。その時ねえ、思わずナンマンダブ、ナンマンダブって、ゆうてしまいました。先生、このナンマンダブは、いけないですよ、ね。真宗のご法義から言ったら、「うーん、いいや、いけんことありません。あかんことありません。あのね、それは貴方に如来さまが届いているということですよ。」

寺族婦人の仕事

中身は裸の私ですよ。色んな物を着たり脱いだりして、我々は着物の中に裸で住んでる訳です。色んなことを思いながら、考えながら、言いながら、あるいは、食べながら、出しながら。裸で着物の中に住んでいるのが我々だけれども、如来さまが一緒であります、ということですよ。その『如来さまを伝えていただく』こと、これは大きな寺族婦人の一つの仕事でしょう。

御同朋の社会をめざして 別院にて法要勤修

平成二十四年三月十四日、午後一時三十分より本願寺神戸別院本堂において『御同朋の社会をめざす法要』が勤修された。法要は、中尾教雄教区基幹運動推進委員会副会長から開会の言葉として法要の主旨が述べられた後、行事鐘とともに始まった。

導師を勤めた滝口隆誠教区基幹運動推進委員会会長が表白で、「二つの事件は、単に個人の問題として捉えるのではなく、



多くの参加者が法要に集った

「仏教の根本が平等思想であるならば、現状は、『教義は教義。現実には現実』というようにな理解になっていない。改めて正信偈の『如來水入海一味』という句に想いを馳せる時、別々の

川の流れであつても海に流れ込めば塩味の一味となっていく。

お念仏によつて阿弥陀様のお救いにあずかつて浄土に生まれ仏となることとが決まっておる者同士が、差別の現実と向き合った時、現実の世界を教える世界に近づけていく作業が必要である。」と語られた。

講演後の決意表明では、大西耕雲教区基幹運動推進委員会副会長が、生活信条の参拝者全員での唱和を呼びかけられ、これまでの同朋運動と今後の課題を述べた上で、「略」本日の『御同朋の社会をめざす法要』が最終ではなく、これを機縁に、阿弥陀如来のご本願に生きる私たちは、念仏者としての自覚のうえから、宗門や教区に起きた差別の現実を学び深く惭愧するとともに、すべての人がひとりと共に、この世の中が争いと差別のない優しさと温もりに包まれた世の中になるよう御同朋の社会の実現をめざしてより一層努力する決意

を新たにします。」と、決意表明文が読み上げられた。

この決意表明に参拝者全員が拍手で賛同の意を表した。その後、予定外ではあつたが、『同朋講座における差別発言事件』の行為者から謝罪と惭愧の言葉が述べられた。

閉会の言葉では、増井浄見教区同朋運動部門代表から今後の課題として、『兵庫教区内より発信された連続差別投書事件』の行為者への名乗り出のアピールや特定など色々な問題もあるが、差別投書で誹謗中傷された様々な立場のかたへの謝罪の意味も含めてこの惭愧の法要を勤修した。

宗門では、四月より新体制となるが、兵庫教区では、様々な課題の克服に取り組んでいくとした上で、この法要の意義に賛同し参拝された方々に御礼が申し上げられ閉会した。当日、二百名にも及ぶ参拝がございました。ご協力ご参画ありがとうございました。

第二十七回 若婦人の集い

三月四日、神戸別院を会場に『第二十七回若婦人の集い』(主催/教区仏婦連盟)が、親子百十三名の参加を頂いて開催された。

当日は、親子一緒に参加できるように、午前の研修会中は、キッズサングの実践として教区少年連盟指導者らが子ども達の世話をし、午後からは、親子共に参加できるアトラクションという構成で進行した。

午前中は、開会式の後体験発表が行われ、宮崎彩子さん(神戸東組)、黒田小百合さん(揖籠西組)より、本山での若婦人中央研修会に参加して、学んだことや考えたことの発表が行われた。続いて、鹿多証道師(加古川組妙正寺)によるご法話を頂戴した。

その後、昼食を挟んで、安藤聖一師(人形遣い/新瀧教区三条組福勝寺)による人形説きが行われた。



人形説きの様子(王様とハト)

岡山から参加の上田さん、廣田さん(共に二回目)の参加は「鹿多先生のお話を聞いて、童謡の意味を大人になって改めて学ぶと、その中に込められた作者の想いや、暖かい心に触られた様で、とても味わい深かった」と語った。

また、安藤師の人形説きについて「ストーリーと人形の作り等がマッチして、見ていてなるほど、と思える仕掛けがあつて驚いた」

「同じ劇を見ていても、大人と子どもでは、見る視点や話のツボが全く違って新鮮だった。こういったお寺での行事が、手を合わせるきっかけになる。お寺に集うということとは、大切なことなんだと思つた」と述べた。

2012 (平成24) 年度 兵庫教区一般会計歳計予算

[歳入]

款	項	費 目	24年度予算額	23年度予算額	対比(△減)
1		賦 課 金	65,370,000	65,690,000	△ 320,000
	1	本 年 度 賦 課 金	64,920,000	65,290,000	△ 370,000
	2	過 年 度 賦 課 金	450,000	400,000	50,000
2		宗 派 交 付 金	29,791,000	31,923,000	△ 2,132,000
	1	各 種 助 成 金	20,191,000	19,253,000	938,000
	2	地 方 事 務 費	9,600,000	12,670,000	△ 3,070,000
3		願 記 冥 加 金	5,500,000	5,500,000	0
	1	願 記 冥 加 金	5,500,000	5,500,000	0
4		会 費 収 入	3,570,000	6,290,000	△ 2,720,000
	1	会 費 収 入	3,570,000	6,290,000	△ 2,720,000
5		繰 入 金	13,120,795	9,010,000	4,110,795
	1	繰 入 金	13,120,795	9,010,000	4,110,795
6		雑 収 入	3,003,205	1,647,000	1,356,205
	1	雑 収 入	3,003,205	1,647,000	1,356,205
7		繰 越 金	1,060,000	1,500,000	△ 440,000
	1	繰 越 金	1,060,000	1,500,000	△ 440,000
歳 入 合 計			121,415,000	121,560,000	△ 145,000

[歳出]

款	項	費 目	24年度予算額	23年度予算額	対比(△減)
1		教 化 事 業 費	34,987,000	41,773,000	△ 6,786,000
	1	実 践 運 動 費	32,882,000	41,673,000	△ 8,791,000
	2	基 本 計 画 推 進 費	5,000	100,000	△ 95,000
	3	キ ッ ズ サ ン ガ 費	2,100,000	0	2,100,000
2		組 教 化 助 成 費	3,246,000	3,360,000	△ 114,000
	1	組 教 化 助 成 費	3,246,000	3,360,000	△ 114,000
3		会 議 費	3,260,000	3,350,000	△ 90,000
	1	会 議 費	3,260,000	3,350,000	△ 90,000
4		宗 会 選 挙 費	1,900,000	50,000	1,850,000
	1	宗 会 選 挙 費	1,900,000	50,000	1,850,000
5		教 務 所 費	70,145,000	67,875,000	2,270,000
	1	職 員 費	63,705,000	61,885,000	1,820,000
	2	事 務 所 費	5,440,000	4,990,000	450,000
	3	維 持 管 理 費	1,000,000	1,000,000	0
6		災 害 対 策 費	4,300,000	2,350,000	1,950,000
	1	災 害 対 策 費	4,300,000	2,350,000	1,950,000
7		回 金	500,000	500,000	0
	1	回 金	500,000	500,000	0
8		予 備 費	3,077,000	2,302,000	775,000
	1	予 備 費	3,077,000	2,302,000	775,000
歳 出 合 計			121,415,000	121,560,000	△ 145,000

2012(平成24)年度 特別会計兵庫教区・神戸別院大遠忌長期計画推進費歳計予算

[歳入]

款	項	費 目	24年度予算額	23年度予算額	対比(△減)
1		協 賛 懇 志	7,000,000	22,700,000	△ 15,700,000
	1	組 協 賛 懇 志	6,000,000	17,700,000	△ 11,700,000
	2	神 戸 別 院 協 賛 懇 志	1,000,000	5,000,000	△ 4,000,000
2		宗 派 交 付 金	595,000	860,000	△ 265,000
	1	教 化 助 成 費	200,000	200,000	0
	2	研 修 助 成 費	395,000	660,000	△ 265,000
3		事 業 収 入	100,000	1,100,000	△ 1,000,000
	1	会 費 収 入	100,000	100,000	0
	2	寄 付 協 賛 金	0	1,000,000	△ 1,000,000
4		繰 入 金	0	0	0
	1	繰 入 金	0	0	0
5		雑 収 入	4,000	8,924	△ 4,924
	1	雑 収 入	4,000	8,924	△ 4,924
6		前 年 度 繰 越 金	18,820,000	26,832,031	△ 8,012,031
	1	前 年 度 繰 越 金	18,820,000	26,832,031	△ 8,012,031
		歳 入 合 計	26,519,000	51,500,955	△ 24,981,955

[歳出]

款	項	費 目	24年度予算額	23年度予算額	対比(△減)
1		大 遠 忌 法 要 費	0	0	0
	1	法 要 費	0	0	0
	2	設 営 費	0	0	0
	3	講 師 諸 費	0	0	0
	4	組 助 成 費	0	0	0
	5	諸 費	0	0	0
2		行 事 費	1,800,000	4,300,000	△ 2,500,000
	1	組 織 行 事 費	1,500,000	1,500,000	0
	2	青 少 年 行 事 費	200,000	800,000	△ 600,000
	3	特 別 行 事 費	0	0	0
	4	聖 人 讃 仰 費	100,000	500,000	△ 400,000
	5	広 告 費	0	1,500,000	△ 1,500,000
3		伝 道 開 教 費	900,000	2,500,000	△ 1,600,000
	1	都 市 開 教 事 業 費	200,000	500,000	△ 300,000
	2	過 疎 対 策 事 業 費	200,000	500,000	△ 300,000
	3	メ デ ィ ア 広 報 費	500,000	1,500,000	△ 1,000,000
4		人 材 育 成 費	10,120,000	9,330,000	790,000
	1	後 継 者 育 成 費	600,000	1,000,000	△ 400,000
	2	セ ン タ ー 育 成 費	300,000	1,000,000	△ 700,000
	3	寺 院 育 成 費	5,570,000	2,865,000	2,705,000
	4	育 成 教 材 費	650,000	650,000	0
	5	僧 侶 研 修 費	2,000,000	2,615,000	△ 615,000
	6	講 師 育 成 費	1,000,000	1,200,000	△ 200,000
5		組 助 成 金	600,000	1,770,000	△ 1,170,000
	1	組 助 成 金	600,000	1,770,000	△ 1,170,000
6		事 務 費	2,500,000	4,000,000	△ 1,500,000
	1	委 員 会 費	1,500,000	1,500,000	0
	2	事 務 諸 費	1,000,000	2,500,000	△ 1,500,000
7		予 備 費	2,000,000	4,000,000	△ 2,000,000
	1	予 備 費	2,000,000	4,000,000	△ 2,000,000
8		翌 年 度 繰 越 金	8,599,000	25,600,955	△ 17,001,955
	1	翌 年 度 繰 越 金	8,599,000	25,600,955	△ 17,001,955
		歳 出 合 計	26,519,000	51,500,955	△ 24,981,955